

目次

はじめに

1

第1章 景気回復の現状と課題

3

第1節 景気回復のモメンタムの持続性	6
1 戦後最長に迫る景気回復の背景と持続性	6
2 地域経済における回復の進展	19
3 需給ギャップの縮小と潜在成長率向上への課題	28
第2節 景気回復の進展と経済再生に向けた進捗	30
1 家計部門の動向	30
2 企業部門の動向	44
3 デフレ脱却・経済再生に向けた進捗と展望	63
4 賃上げの状況	82
白書の注目点①：GDPギャップ、潜在成長率に注目する理由	88
第3節 消費行動分析の新たな視点	90
1 インターネットを利用した消費（eコマース）やシェアリング	90
2 ビッグデータ・AIを活用した消費分析	100
第4節 財政金融政策の動向	110
1 金融政策の国際比較及び実体経済への波及	110
2 経済・財政一体改革への取組	121
第5節 本章のまとめ：潜在成長率の向上へ	128

第2章 人生100年時代の人材と働き方

131

第1節 技術革新・少子高齢化を踏まえた労働市場の課題	134
1 技術革新が労働市場に与える影響	134
2 少子高齢化の下で求められる働き方の多様化	153

第2節	人生100年時代の人材育成	161
1	技術革新に対応したスキル習得の推進	161
2	企業における人的資本投資の効果	170
3	社会人の学び直し（リカレント教育）とキャリア・アップ	178
	白書の注目点②：人生100年時代には学び直しが大切	188
第3節	働き方の多様化が進む中で求められる雇用制度の改革	190
1	多様な働き方の導入とその効果	190
2	多様な働き方に向けた制度面の課題	197
第4節	本章のまとめ：人生100年時代の社会へ	212

第3章 「Society 5.0」に向けた行動変化 215

第1節	第4次産業革命の社会実装	217
1	第4次産業革命の進展と経済構造への影響	217
2	集中化が進むプラットフォーム・ビジネスとデータ獲得競争	221
3	生産面・サービス供給面の改革：AI、IoTとロボティクスの普及	228
4	金融面の変化：FinTech／キャッシュレス化の進展	233
5	次世代モビリティ・システム、次世代ヘルスケア・システムの動き	236
第2節	イノベーションの進展と日本の競争力	239
1	企業レベルでみたイノベーションの現状とグローバル競争力	239
2	イノベーションの基礎力：人的資本、知識、技術力、研究開発の課題	243
3	イノベーションへの適合力：組織、人材投資、起業、ルール・制度面の課題	256
4	第4次産業革命の加速への挑戦	270
	白書の注目点③：新たなイノベーションでの日本の強みと弱みは	272
第3節	イノベーションの進展による労働分配率と生産性への影響	274
1	イノベーションの進展による労働分配率の変化	274
2	イノベーションの進展と生産性成長率	283
第4節	本章のまとめ：「Society 5.0」の経済へ	287

目次

おわりに 289

付図・付表 295

付注 315

参考文献一覧 355

長期経済統計 369

国民経済計算	371
家計、企業、人口・雇用、物価	376
国際経済	382
金融、財政	385
四半期統計（実質GDP成長率とその寄与度）	388

図表索引 図表索引-1

コラム

1-1 インバウンド消費の変化	26
1-2 ボリューム減による実質値上げ	70
1-3 ネット消費と物価	80
2-1 学び直しを行っている社会人学生の特徴	182
3-1 新技術を利用した「クラウド」サービス	231